

広報 第三号

さくら前線

今月は福島県の大河内記念病院の紹介です

新任の「あいさつ」

大河内記念病院

内科 田中 祐子



3月中旬より大河内記念病院に赴任しました内科の田中祐子です。専門は消化器内科及び総合内科です。

東京都内で十数年近く開業しておりました。標榜科目は総合内科、消化器内科、精神科、呼吸器科でした。朝7時より、診療開始時間の9時まで、胃カメラ、大腸カメラ、超音波診断、お昼休みは、在宅という概念こそ無い時代でしたが10人程往診していました。

都立駒込病院勤務歴もあり、消化器内科だった為、よく消化器外科へ患者さんをご紹介もしていたので、とても外科の先生方とも懇意にしていた皆さまに開業してからの往診患者さんで

お食事を召し上がらなくなった方へは駒込病院の外科の先生に依頼して中心静脈ポート施術していただき、また最新の御看取りも試行錯誤しておりました次第です。

後継者がいなかった為に閉院し、数年前より勤務医に戻りました。急性期病院、ケアミックス病院、療養病院、在宅クリニック、リハビリ専門病院と様々な経験をいたしました。

この経験を生かしまして是非とも大河内記念病院では、地域密着型の在宅復帰支援の概念が未だ浸透されていない様子なので丁寧に御説明し、深いご理解を得て、より、いわき市の市民の皆様にご心よりお役に立てます病院になりますよう、精一杯尽力いたしたい所存です。

施設紹介 「大河内記念病院」

現在、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行（パンデミック）、国内の感染拡大及び、福島県内（いわき市）で、感染症患者の発生に伴い、当面の間当院全面的に面会を制限させて頂いております。

この措置は、入院患者さんを守りするための大変重要な感染対策ですので、ご協力・ご理解をお願い申し上げます。

また、感染予防対策として、

「標準予防策」

「感染経路別予防策」

以上のような基本的な

対策方法を踏まえて

新型コロナウイルスを

「持ち込まない」

「広げない」

ことを留意して徹底した

感染対策をしております

【特集】 新型コロナウイルス感染症

● 症状

- ① 発熱や喉の痛み
- ② 咳が長引く（1週間前後）
- ③ 強いだるさ
- ④ 味覚障害・嗅覚症状

潜伏期間が1日～12日以上と言われ、主な感染経路は咳やくしゃみを吸い込む飛沫感染と飛沫などが手指から体内に入る接触感染です。

● 相談窓口

「風邪症状や37.5度以上の発熱が4日以上続いている場合」「強いだるさや息苦しさがある場合」は、最寄りの帰国者・接触者相談センター（保健所）へご相談ください。直接病院を訪れると、ほかの患者さんに感染させる危険がありますので、ご注意ください。

